仕 様 説 明 書

警報自動通報装置
DSV−ALM−A／4G



信頼と技術で未来へ
昭和機器工業株式会社

１．はじめに

本仕様書は、無人施設等に設置された液面計の漏えい点検、水検知、オイルリークモニターなどの警報を遠隔地にいる施設管理者などに自動通報する装置について記載したものです。

① 自動通報に使用する通信回線は、以下の 2 タイプがあります。
- 一般電話回線タイプ（NTT 仕様に準拠した電話回線）
- 4G 回線タイプ（NTT ドコモ）

② 警報接点の入力は、最大 4 接点まで（液面計などの警報無電圧接点を入力）。

③ 一般電話回線タイプは、
→「音声通報」のみの場合は、通報先 6 か所まで
→「音声通報」と「E メール通報」併用の場合は、「音声通報」5 か所まで、「E メール通報」30 か所まで指定できます。

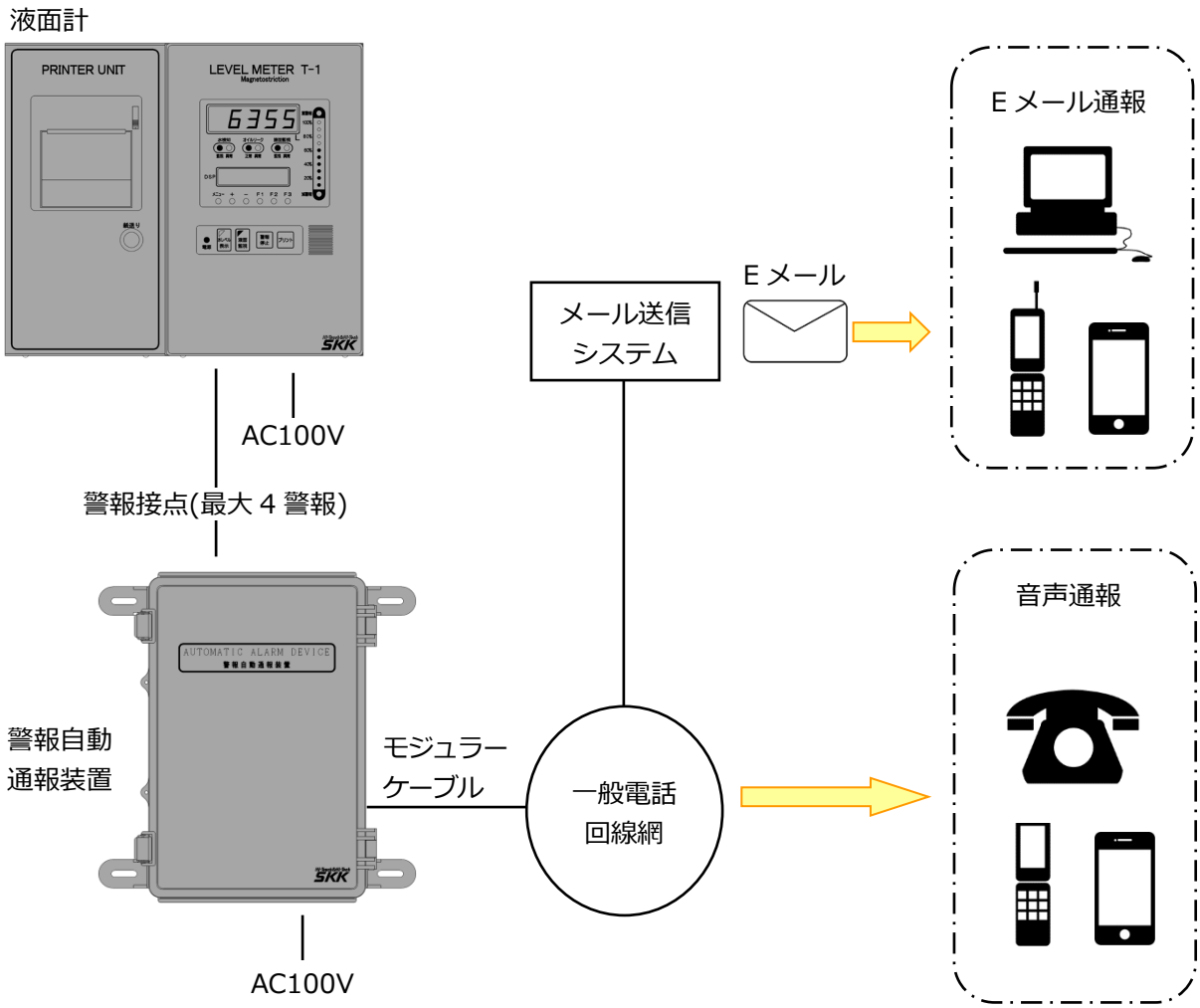
4G 回線タイプは、通報先として「音声通報」を 6 か所まで、「SMS メール通報」を 6 か所まで指定できます。また、通報先ごとに通報する警報接点を選択できます。

通報の方法	一般電話	4G 回線	内　容
音声通報	○	○	音声通報は、一般電話、携帯電話、PHS などへ音声で通報します。警報接点ごとに音声メッセージを変えることができます。
E メール通報　**※1**	○	**使用不可**	E メール通報は、パソコンや携帯電話などに電子メールにて通報します。警報入力の接点ごとにメールメッセージ（30 文字以内）を登録できます。 通報先メールアドレスは、30 か所まで登録できます。
SMS メール通報	**使用不可**	○	SMS メール通報は、携帯電話の SMS メールにて通報します。警報入力の接点ごとにメールメッセージ（30 文字以内）を登録できます。 SMS メールを受信できる携帯電話先は、ドコモ、au、ソフトバンク、沖縄セルラー、イーアクスセスとなります（PHS には通報できません）。

※1　E メール通報機能を利用される場合は、別途サービス利用料(税別 6,000 円／年間)が必要となります。

2．システム構成図

2－1．一般電話回線タイプ



使用可能な電話回線は、以下の通りです。

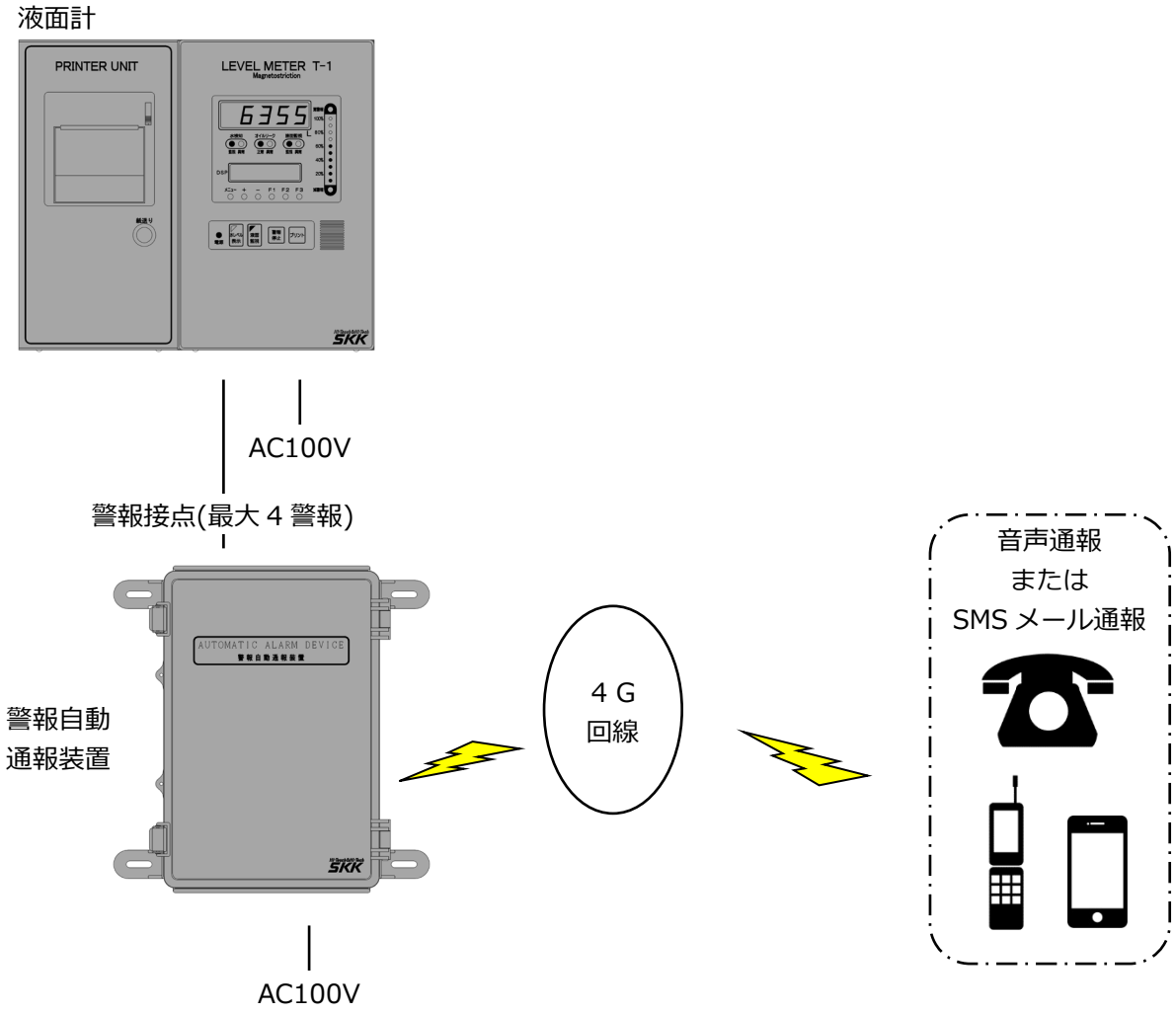
- **NTT 仕様に準拠した２線式のプッシュ回線またはダイヤル回線。**
- ADSL 回線、ISDN 回線の場合は、専用の信号変換器、モデム、ＴＡなどの **NTT 仕様準拠のアナログポート**に接続して使用できます。

※ 一般的な家庭用の電話機が使用できる回線であれば接続可能です。

※ PBX（構内交換機）は、アナログ回線であれば使用できますが、機種によっては使用できない場合があるため、事前の作動確認が必要です。

※ ビジネスホン、ホームテレホン、４線式電話機、専用線では使用できません。

２－２．４Ｇ回線タイプ



お客様にて、NTT ドコモの「ギガライト(4G 回線)」または「NTT ドコモ回線(4G 回線)を利用したMVNO(格安ＳＩＭ)」のご契約が必要です。
詳細は、最寄りの当社支店・営業所（8 ページ）までお問い合わせください。

３．通報の種類複数通報先の動作

３－１．音声通報

音声通報を利用するには、事前に音声内容を録音しておく必要があります。音声録音は、8 つの録音チャンネルが用意されています。各チャンネルの録音時間は、最大 20 秒となります。

通報の手順

① 警報信号 ON　➔ダイヤル

② 相手が電話に出るまで待つ（30 秒）
　△ 30 秒待ったが電話に出ない　➔リダイヤル
　△ 相手が電話に出た　➔③へ

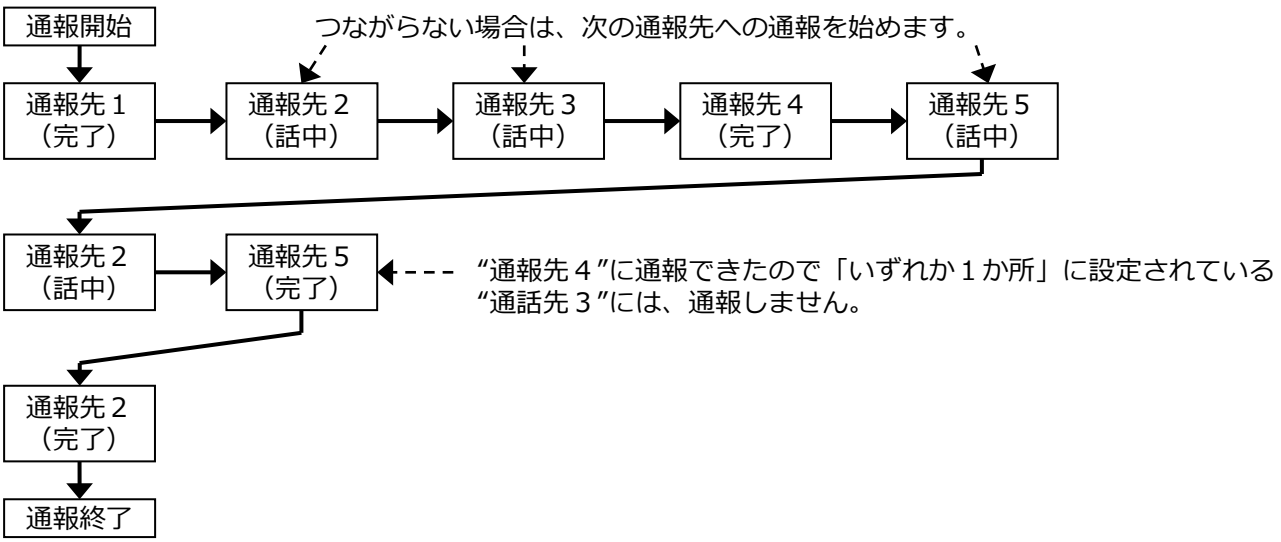
③ 音声メッセージが流れる

④ 相手が電話を切ったかを確認する
　△ 通話開始から 120 秒以内に電話を切った　➔通報終了、次の通報先へ
　△ 通話開始から 120 秒以上経っても電話が切られない　➔リダイヤル

複数通報先の動作

通報先それぞれに「必ず通報／いずれか１か所」を選ぶことができます。

例）通報先を４か所、通報先ごとに以下の設定にしたとき
　通報先１：必ず通報
　通報先２：必ず通報
　通報先３：いずれか１か所
　通報先４：いずれか１か所
　通報先５：必ず通報



リダイヤルの設定

リダイヤルの回数は、「0～9 回」または「無制限」を選ぶことができます。リダイヤルの制限回数を超えた場合は、次の通報先へ移ります。

録音項目

チャンネル 0　：現場名や施設名称を登録します。
　　例）「こちらは、○○施設の地下タンクです」

チャンネル 1　：警報入力 1 が ON したときの通報内容を登録します。
　　例）「漏えい警報が発生しました」

チャンネル 2　：警報入力 2 が ON したときの通報内容を登録します。
　　例）「二重殻タンク間隙のリーク警報が発生しました」

チャンネル 3　：警報入力 3 が ON したときの通報内容を登録します。
　　例）「水検知警報が発生しました。」

チャンネル 4　：警報入力 4 が ON したときの通報内容を登録します。
　　例）「タンク在庫の減警報が発生しました」

チャンネル 5　：警報入力 1 ～ 4 が全て解除されたときの通報内容を登録します。
　　例）「全ての警報は解除されました」

チャンネル 6　：停電が発生したときの通報内容を登録します。
　　例）「停電が発生しました」

チャンネル 7　：電源が復旧したときの通報内容を登録します。
　　例）「電源が復旧しました」

通報例

入力 1　ON　「こちらは、○○施設地下タンクです。漏えい点検で異常を検知しました。」

全入力　OFF　「こちらは、○○施設地下タンクです。全ての警報は解除されました。」

停電発生　　「○○施設地下タンクです。停電が発生しました。」

３－２．Ｅメール通報（一般電話回線タイプのみ／有料）

E メール通報を利用するには、事前に「件名」「本文」のメッセージを登録する必要があります。
各メッセージは最大 30 文字までとなります。

登録項目　※ 件名は 30 文字以内、本文は 30 文字以内です。

識別コード：メールの件名になります。現場名や施設名称を登録します。
　　例）「○○施設の地下タンクです」

入力１ON　：警報入力１が ON したときのメール本文
　　例）「漏えい警報が発生しました！」

入力１OFF：警報入力１が OFF したときのメール本文
　　例）「漏えい警報が解除されました。」

入力２ON　：警報入力２が ON したときのメール本文
　　例）「二重殻タンク間隙のリーク警報が発生しました！」

入力２OFF：警報入力２が OFF したときのメール本文
　　例）「二重殻タンク間隙のリーク警報が解除されました。」

入力３ON　：警報入力３が ON したときのメール本文
　　例）「水検知警報が発生しました！」

入力３OFF：警報入力３が OFF したときのメール本文
　　例）「水検知警報が解除されました。」

入力４ON　：警報入力４が ON したときのメール本文
　　例）「タンク在庫の減警報が発生しました！」

入力４OFF：警報入力４が OFF したときのメール本文
　　例）「タンク在庫の減警報が解除されました。」

全解除　　：警報入力１～４が全て OFF したときのメール本文
　　例）「全ての警報は解除されました。」

停電　　：停電したときのメール本文
　　例）「停電が発生しました。」

復電　　：電源が復旧したときのメール本文
　　例）「電源が復旧しました。」

定期通報　：定期通報のメール本文
　　例）「定期連絡です。通報装置は正常に作動しています。」

メール例

入力１　ON　「○○施設地下タンクです。漏えい異常が発生しました！」

入力１　OFF　「○○施設地下タンクです。漏えい点検警報が解除されました。」

停電発生　　「○○施設地下タンクです。停電が発生しました。」

定期通報　　「○○施設地下タンクです。定期連絡です。通報装置は正常に作動しています。」

３－３．SMS メール通報（４Ｇ回線タイプのみ）

SMS メール通報を利用するには、事前に「ヘッダー」「所在地」「本文」のメッセージを登録する必要があります。メールは、「ヘッダー」＋「所在地」＋「本文」の形となります。

登録項目　※ ヘッダーは８文字以内、所在地は 25 文字以内、本文は 30 文字以内です。

警報発生ヘッダー　:「★警報発生」のような受信時に識別しやすい内容にします。

警報解除ヘッダー　:「☆警報解除」のような受信時に識別しやすい内容にします。

所在地　　：現場名や施設名称を登録します。
　　例）「○○施設の地下タンク」

入力１ON　：警報入力１が ON したときのメール本文
　　例）「漏えい警報」

入力２ON　：警報入力２が ON したときのメール本文
　　例）「二重殻タンク間隙のリーク警報」

入力３ON　：警報入力３が ON したときのメール本文
　　例）「水検知警報」

入力４ON　：警報入力４が ON したときのメール本文
　　例）「タンク在庫の減警報」

停電・復電：停電したときのメール本文
　　例）「停電」

定期通報　：定期通報のメール本文
　　例）「定期連絡」

メール例

入力１　ON　「★警報発生。○○施設の地下タンク。漏えい警報」

入力１　OFF　「☆警報解除。○○施設の地下タンク。漏えい警報」

停電発生　　「★警報発生。○○施設地下タンク。停電。」

定期通報　　「○○施設地下タンク。定期連絡。」

4．サービスネットワーク

お問い合わせは、最寄りの当社各支店・営業所にご連絡いただくか、下記の「SKKホームページ」をご参照ください。

https://www.showa-kiki.co.jp

2026.9.4 改訂